



# 生きがい情報士

## 中高年の健康の維持・増進、セカンドライフの生きがいづくりを支援する

### しごとの内容

中高年の依頼に応じ、健康や生きがいのために役立つ情報の提供、仲間づくりのための社会参加の支援などを行います。

具体的には、IT（情報技術）を駆使した各種の情報を相手方の特性や状況に応じて紹介したり、個人的な悩みや希望について相談を受け、その自立と自己実現を図ったり、職域や地域で仲間づくりや組織づくりなどを支援したりします。

また、若いうちから自分の能力を発見したり、開発したりして個々の知識や技術の中から生きがいを見出し、主体的な健康・生きがいづくりに導くほか、職域や地域でその必要性について啓発します。

### 主な職場

病院、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設

### 将来性

人生100年時代を迎え、だれもが「老後は健康でありたい」と願っており、年金や医療保険の知識が求められ、さらには退職前準備教育も必要となっているため、有望です。

### 資格認定者数

6,920人（2008年度現在）



## 合格者状況

認定審査試験の受験者は毎年増えており、最近では1,000～1,500人が受験し、合格率は80～85%となっています。

## 勤務形態

日勤が一般的ですが、出張など変則的な勤務もあります。

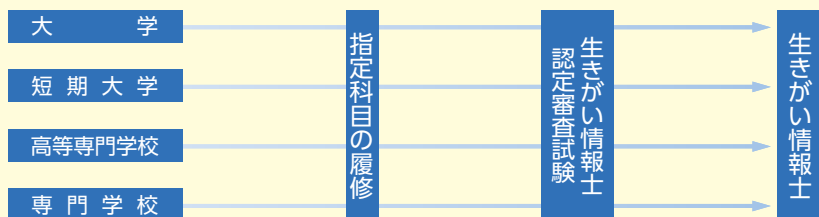
## 給与水準

この資格だけで給与を得ることは困難であり、基本給に資格手当などがプラスされることもあります。

## 資格取得のルート

大学、短期大学、高等専門学校、専門学校などで指定科目を履修したうえ、生きがい情報士の認定審査試験に合格し、登録して資格を取得します。

<資格取得のルート>



## 資格取得のポイント

指定養成校等で以下の指定科目を履修し、認定審査試験を受験します。

- ①総論（健康・生きがいづくり総論）、②核カリキュラム（健康管理/余暇・趣味・生涯学習/社会参加/就労・起業/ライフプランと経済金融/福祉・生活支援/熟年期支援に必要な法律知識）、③技術（ライフプラン技術/仲間作り援助技術/情報検索技術（ネットワーク技術Ⅰ）/広報技術（ネットワーク技術Ⅱ））、④見学・実習（ボランティア実習/就労幹旋施設見学/健康増進施設見学/余暇関連施設見学/福祉施設見学）

## 関連団体・組織

---

健康・生きがい開発財団

<http://www.ikigai-zaidan.or.jp/>